

耳をすませば こんな冬の夜には
暖かい足音が聴こえてくるでしょう
それはもうすぐ来るはずの明日に
人々が託したささやかな夢たち

ふと見上げれば東の空に月が生まれる
拍手で迎えるように星がまたたく

満月の日には明るく窓辺を照らして
半月の日には優しい愛の歌うたって
三日月の日には遙かな物語聞かせて
新月の日にも静かに世界を見つめて

小さな指に握りしめているのは
これからの人生 その幸せの種
こんなに寒い風が吹いているけど
あせらなくてもいい 春は必ず来る

君のまあるいその瞳には何が見えるの
いつか言葉を覚えたらきっと教えて

晴れ渡る日には透きとおる輝き放って
雲の多い日にも負けない光を育てて
雨が降る日には気にせず高く高く揚がって
雪が降る日にも未来を強く強く想って

花の名前をひとつひとつ覚えて
人の歓び ひとつひとつ見つけて
君の笑顔は誰も真似できない
そうさ新しい時代 出番を待ってる

満月の日には明るく窓辺を照らして
半月の日には優しい愛の歌うたって
三日月の日には遙かな物語聞かせて
新月の日にも静かに世界を見つめて